

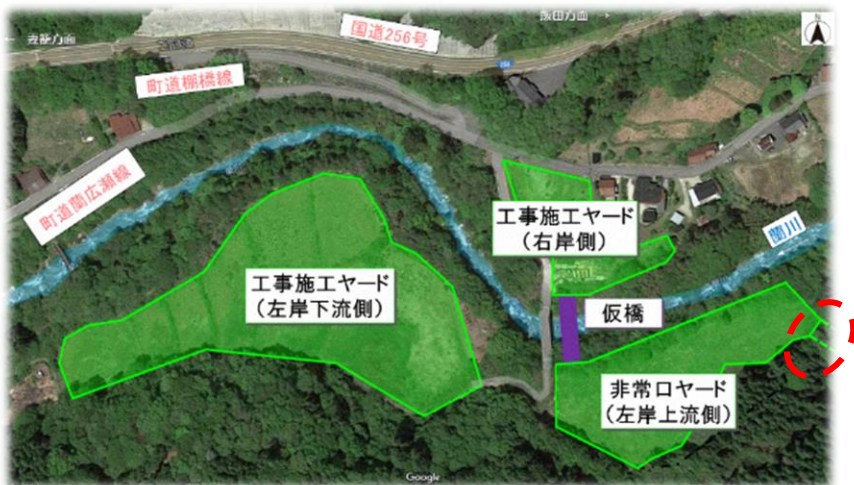
南木曾町リニア中央新幹線 対策協議会

令和5(2023)年10月12日(木)

東海旅客鉄道株式会社

1. 各工区の進捗状況について
2. 発生土置き場(尾越)に係る工事及び盛土条例に基づく申請内容に関する説明会でのご説明内容
3. 工事説明会での主なご質問と回答
4. 尾越工区の今後の予定

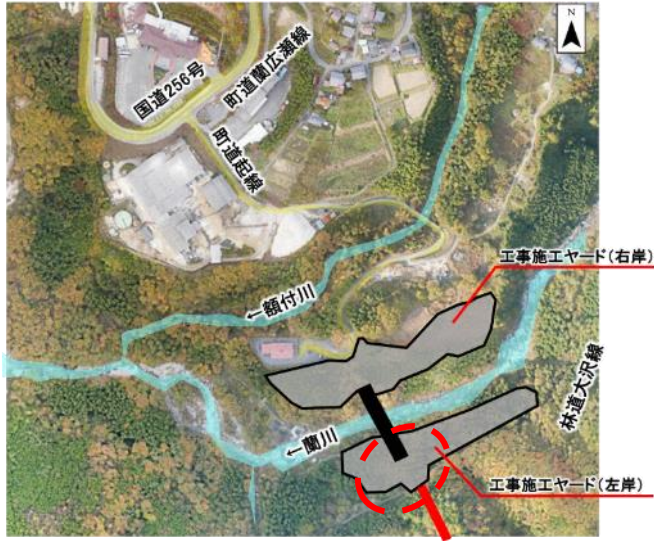
広瀬工区



ヤード伐採工 施工状況 (R5.9撮影)



尾越工区



坑口付近施工状況 (R5.10撮影)



山口工区



斜坑坑口状況 (R5.9撮影)



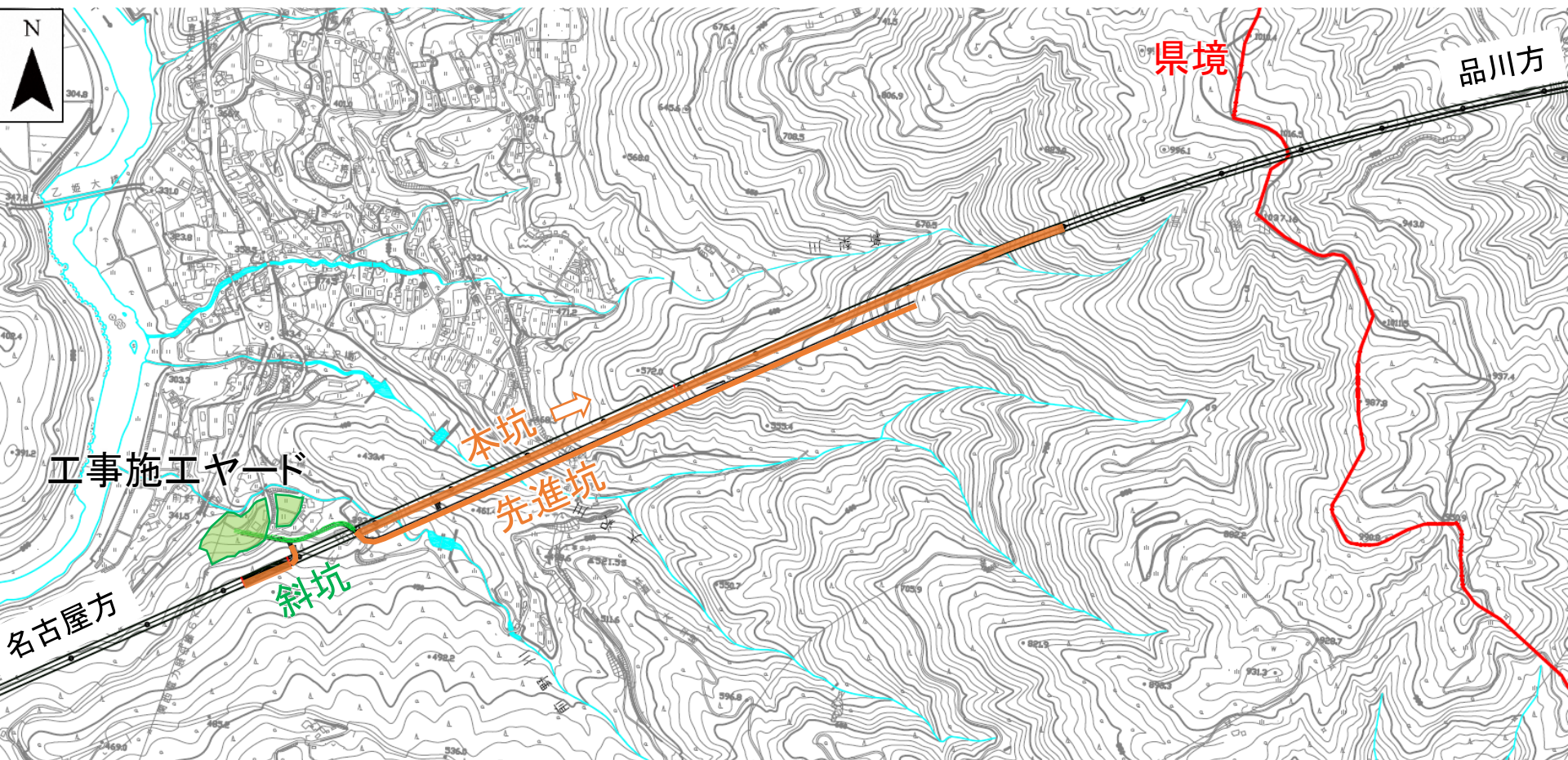
本坑 掘削状況 (R5.9撮影)



本坑 覆工コンクリート施工状況 (R5.9撮影) 5

山口工区

※9月末時点



工事説明会

9月 5日(火) : 蘭地区、広瀬地区

9月21日(木) : 妻籠地区

【説明内容】

○発生土置き場(尾越)

- 工事概要
- 工事用車両の運行計画及び安全対策
- 環境保全
- 盛土条例※に基づく説明

※ 長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例

お手元の工事説明会資料をご覧ください

配布資料1



発生土置き場(尾越)に係る工事及び 盛土条例に基づく申請内容に関する説明会

令和5(2023)年9月 5日(火) 19:00 於:南木曾町公民館 蘭分館

令和5(2023)年9月21日(木) 19:00 於:妻籠町並み交流センター

事業者:東海旅客鉄道株式会社

発注者:独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

施工者:大林・若築・株木、中央新幹線 中央アルプストンネル(尾越)

特定建設工事共同企業体

主な質問と回答

- ・ 熱海の事例では沢、谷底をすべり面として盛土が崩れている。
 - ・ 今回の盛土も旧沢地形であること、および既設盛土があることを考慮したうえで安全性を検討しているのか。
-
- ・ 熱海の事例は盛土構造物と言えるものではなく、土を盛っただけで排水設備も入っていなかったものと理解している。
 - ・ 今回の盛土は過去の盛土、原地盤も併せて地質調査を実施し、その結果を踏まえて設計している。
 - ・ 排水設備等の設置を行うほか、安定計算を実施し、安全性を確認している。

主な質問と回答

- ・ 発生土置き場を確保しないとトンネル工事は開始しないとJR東海は言っていた。
仮置き場以外に置き場がないのであればトンネル工事を開始できないのではないかと。
- ・ 発生土はまずは長野県の実施する木曾川右岸道路事業でご活用いただく。
- ・ その他の置き場も検討しており、協議を進めていく。

主な質問と回答

- ・ 盛土量が前計画の14万 m^3 でも問題ないのなら、9万 m^3 に変更する必要はないのでは。
- ・ 途中で変更するから信用がなくなる。
- ・ 従前の計画である20万 m^3 、14万 m^3 であっても安定計算を実施し、結果として安全性は担保されていたが、町、地元との協議のなかで、より安全かつご安心いただけるように変更している。

主な質問と回答

- ・ 説明会の度に平場の面積が縮小している。将来的に有効活用したいが今の計画では平場の面積はどれくらいか。
 - ・ 説明会に来ていない若い人達にヒアリングしたところ、関心がないというよりはJRを信頼して任せている。時間をつくって説明会に来るのは難しいときいているので意見として伝えておく。
-
- ・ 盛土最上部での平場の面積は概ね3,400m²である。
 - ・ 貴重なご意見をいただき感謝する。

トンネル工事

斜坑掘削開始 : 2023年10月中旬~

置き場関係

木曾川右岸道路事業への運搬 : 2023年10月中旬~

工場解体 : 2023年10月中旬~

発生土置き場(尾越)造成 : 2024年 4月~

※工事等の進捗により時期が変更になる可能性があります。